

# グローバル展開する企業の 国際インターネット通信問題を解消する

## クラウドシフトで急増する安定品質へのニーズに応える国際通信サービス

クラウドファーストの考え方が急速に浸透しつつある今日、クラウドサービス利用における国際インターネット通信品質の向上は、多くの企業が既に抱えている或いはこれから直面していく重要課題である。そのような状況の中で登場した新しい国際通信サービスがこの重要課題を解決する有効策として注目を集め始めている。

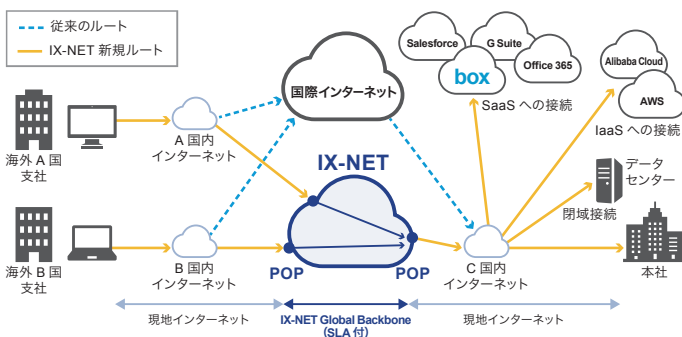
### 海外進出企業を悩ます国際通信の品質問題

今や世界中ほとんどすべての国や地域を網羅するインターネットにより、ビジネスにおいても世界中で国境を越えた通信を行うことができるが、現実的には国と国との間に「見えない壁」が存在しているのも事実だ。国と国をまたぐインターネット接続環境において、通信経路や通信帯域などのリソースは未だに潤沢とは言えない。そのため、特に中国や東南アジア地域に多く見られることだが、限られた通信帯域にトラフィックが集中すると通信遅延が起り、最悪の場合にはパケット損失や通信遮断が起こることもある。これが国際通信における見えない「国境」でありボトルネックとなっている。

この国境のボトルネックを避けるため、海外進出する企業では国際専用線、国際 WAN サービス等を活用し、安定した品質の通信手段を確保するケースもある。

### 国際専用線だけではすべてのニーズ満たせない

だがこうしたサービスは決して安価でない。さらには導入までに相当な時間がかかり、契約期間も一般的に年単位の契約



※2018年9月現在、世界18の国と地域  
【アジア】日本、中国、香港、シンガポール、韓国、台湾、インドネシア、フィリピン、タイ、インド、ベトナム、ミャンマー  
【欧米】米国、ドイツ、フランス  
【オセアニア】オーストラリア  
【アフリカ】南アフリカ、ケニア

図1) IX-NETの接続先およびサービス提供エリア

を前提としているため、ニーズに合わない場合も少なくない。例えば、海外現地に支社は構えているが駐在員が少ない、或いは接続拠点が短期間で変わる場合などは、国際専用線の利用は現実的ではない。

さらに近年では、アプリケーションやシステム基盤の事情も変わり、これまでのように1つのデータセンターへ専用線を集約すれば済む時代ではなくなってきた。ほとんどの企業では、多数のクラウドアプリケーションの利用が当たり前となり、業務システムもクラウド基盤に移行しているため、多数の拠点から多数のデータセンターへアクセスする目的で国際専用線を利用するというのは非現実的である。

セキュリティの問題で、現地拠点と日本の本社との間で重要なデータをセキュアにやり取りするならともかく、その他の細かなさまざまなニーズには柔軟に対応しきれない。それが国際専用線などのネットワークサービスの限界だ。

### インターネットや専用線でカバーできない 国際通信のニーズに応える新たなサービス

このように、国と国をまたぐ通信インフラは「低コストで自由に使えるが品質保証の無いインターネット」と「高額で制約も多いが品質保証されている専用線サービス」といった極端な二択となっていたが、近年新たな選択肢が登場した。縁通が提供する通信サービス「IX-NET」だ。

IX-NETは国と国をまたぐ通信の「国境」部分に、通信品質が保証されたビジネス用の国際インターネット・バックボーン網を利用するサービスである。そのため、インターネットに存在する「国境」部分のボトルネック自体を回避できる仕組みだ。このビジネス用国際インターネット・バックボーン網への接続ポイント(POP)は日本、中国をはじめアジア、北米、欧州など世界各地に設置されており(図1)、ユーザーはこの接続

ポイント (POP) までは現地インターネット経由でアクセスすることができる。つまり、国内の接続は現地インターネットを利用し、「国境」部分だけ「品質保証された国際回線」を通るハイブリッド型国際通信サービスと考えると理解しやすい。

このサービスは、具体的には次のような利用シーンにおいて大きな効果を発揮する。

- (1) 海外から日本の AWS 上のサイト  
(自社システム、B to B サイト) への接続
- (2) Box、Office 365 など、各種 SaaS への接続
- (3) 海外支社から日本本社/データセンターへの接続
- (4) オフショア拠点から日本本社/クラウド上の開発環境への接続
- (5) 海外からの VDI、リモートコントロールなどによる接続

この IX-NET 内の通信経路には SLA が適用され、パケットの遅延は大幅に軽減し、パケット損失はほぼゼロとなり、高品質で安定した通信を実現する。セキュリティについては、暗号化などインターネット上で利用される一般的なセキュリティ通信をそのまま利用できる。

### 国際専用線の数分の 1 のコスト、導入も容易

IX-NET のサービスメリットは多い (図 2)。一概に比較しづらいものの、コストについては専用線の半分以上、多くの場合は数分の一程度で済む。また、専用線などに比べユーザー側サイトの設備や設定は非常にシンプルで、インターネットに接続できるネットワーク環境に専用ルータを接続した時点からすぐに利用することができる。そのため、早ければ数日で迅速に導入できる。契約前に無償で 1 週間接続検証を行えるプログラムも用意されており、通信品質を事前に確認できるのはユーザーにとって心強い。最低契約期間は 3 カ月からと短い設定のため、オフショア開発や BPO での 1 年未満のプロジェクトに利用されるケースも多い。

IX-NET は、1 対多、多対 1、多対多などのさまざまな接続形態に応用が可能だ。本サービスを利用するだけで複数のク

	一般のインターネット	縁通の IX-NET サービス	通信会社の国際専用線
導入期間	—	1~5日	1~6ヶ月
回線費用	◎	◎ 専用線の 50%以下	×
通信品質	×	◎ 専用線と同等品質 (SLA 付)	◎
安全性	×	◎ お客様のセキュリティ環境を踏襲	◎
可用性	×	◎ 最適ルートの自動選択	◎
事前テスト	—	◎ 1週間	×
契約期間	—	◎ 3カ月~	1年~

図2) IX-NET の特徴および他の国際通信手段との比較



図3) Mini ルーター (IX-Mini Router) 写真

ラウドサービスへの高品質な国際通信が実現する。縁通では IX-NET のこのような特性を活かし、クラウドサービス事業者専用にカスタマイズしたミニルータ(図3)も提供している。一般企業ユーザーだけでなくサービス事業者にとっても役立つサービスであることがわかるだろう。IX-NET は企業それぞれのニーズやアイデア次第で、さまざまな活用が期待できる国際通信の新サービスだ。



## 株式会社縁通

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-3 アーバンネット日本橋二丁目ビル 10階  
お問い合わせ TEL. 03-4405-5402  
<https://entsu.com/> [info@entsu.com](mailto:info@entsu.com)

すべての製品名、サービス名、会社名、ロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。